

地域とつながる FFG連携プロジェクト

私たちFFGは、「地域と共に未来を創っていくこと」をスローガンに、
観光・農業・雇用・産業・健康・教育など様々な分野での地方創生に取り組んでいます。
今回は、長崎県の地域経済活性化を目指すビジネスプランコンテストについてご紹介いたします。

長崎県



～型破りが世界を変える～「長崎学生ビジネスプランコンテスト2024」を開催しました



「そらみみ」プレゼンの様子



「チームキャバシタ」プレゼンの様子



「ASRL」プレゼンの様子

2024年9月21日、長崎市立図書館にて十八親和銀行およびFFGが主催する「長崎学生ビジネスプランコンテスト2024」を開催しました。このコンテストは、長崎県の地域経済活性化を目指し、県内の学生を対象に大学発ベンチャー企業の発掘、育成支援、チャレンジ精神を養成する場として2018年から実施し、今回で7回目の開催となりました。今回の応募数は過去最多の66組（142名）に達し、激しい予選を勝ち抜いた13組（42名）が本選へ進出。当日は、100名を超える方々が会場に足を運び、学生たちの気持ちの籠ったプレゼンテーションに熱心に耳を傾けました。

本選で発表された各ビジネスプランは、学生たちがそれぞれの視点から地域課題の解決を自由な発想で独自に考えたものです。長崎大学の「Infinite Thinkers」が提案した「放置竹林の循環的活用」は、持続可能な社会の構築を目指した具体的な解決策として評価され、グランプリを獲得しました。このプロジェクトは、「竹害」として社会課題となっている放置竹林を資源として活用し、お皿やカトラリーとして活用した後も廃棄処分せず、竹酢液や竹炭として有効活用することで、地域社会と環境に貢献するというアイデアであり、社会課題の解決に直結したビジネスプランとして高く評価されました。

また、長崎総合科学大学の「そらみみ」は、会話の聞こえにくさをARメガネで解決するサービス、



グランプリ「Infinite THinkers」



集合写真



主催者挨拶(十八親和銀行 柿本執行役員)



基調講演(株式会社Smolt 上野社長)



募集チラシ

佐世保工業高等専門学校の「チームキャパシタ」は世の中の物事に対して「多数派(少数派)」を判別するアプリ、県内高校生混合チームの「ASRL」は中学部活動指導代行サービスを提案し、いずれも準グランプリ(十八親和銀行賞)を獲得しました。他にも9つの協賛企業賞が授与され、受賞者は審査員や協賛企業から、ビジネスプランの実現に向けた具体的なアドバイスなどを受けることができました。

自らの起業体験をもとに、地域に根ざしたビジネスが持続可能な社会づくりにどのように貢献できるかについて講演を行い、学生たちへエールを送っていただきました。

今後も十八親和銀行では、スタートアップやオーブンイノベーションによる新規事業創出にかかる事業を通して、長崎のミライを担う起業家たちを繋ぎ、革新と挑戦の精神を育む架け橋となるよう努力してまいります。

FFGは地域が抱える課題解決や 地域経済の活性化に取り組んでいます

FFG地方創生の
取組事例はこちら

ストーリーでつながる、銀行系地方創生メディア

 bank baton



地方創生に関するお悩みをご相談ください

- 観光振興
- まちづくり
- 産業振興
- エネルギー
- 教育文化芸術
- ヘルスケア

ふくおかフィナンシャルグループ
営業統括部 地方創生推進グループ
【お問い合わせ】TEL (092) 723-2254



十八親和銀行 地域振興部 左から浜里・井上
【お問い合わせ】095-828-8150